

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

社会学部は、社会学の専門的知識・技能を身につけ、自らの未来を切り拓く実践力を備えた人間の養成を目指して教育を行っています。そのため、本学部で学ぶ意欲があり、高等学校までの学習や経験を通じて基礎的知識を持ち、身近な問題に自ら取り組み、その成果を表現できる力を身に付けていることを重視します。入学者の受入れは、下記の方針に基づいて適正に行います。入学者の選抜は、高等学校又は中等教育学校を卒業した者に限らず、帰国生徒や社会人、編入学、留学生、多様な背景を持った者など、さまざまな個性、能力等を有する人々を受け入れることができるよう、入学者選抜区分に沿った多様な選抜方法を用意して行います。

【社会学部が求める学生像】 次の①～⑤のような学生を求めています

- ① 高等学校の教育課程を幅広く修得している人
- ② 身近な問題について、知識や情報を基にして、筋道を立てて考え、その結果を説明することができる人
- ③ 社会学部で主体的に学ぶ意志がある人
- ④ 学んだ知識や経験を社会で活かしたいという意欲がある人
- ⑤ 地域における社会的活動、文化、スポーツ活動等に取り組む意欲がある人

【入学志願者に求める学習の取組】

- ・高等学校の教育課程における学習を通して、文化や社会に関する基礎知識、加えて思考力、表現力等を身につけておく必要があります。
- ・体験型学習等を通して、物事に主体的に関わっていく態度、様々な他者と協働して何かを成し遂げる能力、自分自身の考えを発信していく力を身につけておく必要があります。
- ・地域社会が直面する問題を多様な観点から理解し、的確かつ精密に分析する力を養うために、様々な社会現象に広く関心を持つ態度や、様々な分野の学習に取り組んでいく態度を身につけておく必要があります。

【入学者選抜の基本方針】

社会学部が求める学生像や学習の取組に基づき、本学部のカリキュラムに基づく学習を進めていくために必要となる「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を総合的に評価するという観点から、下記の入学者選抜区分ごとの評価比重に基づいて選抜します。

【入学者選抜区分ごとの評価の比重】

入学者選抜区分	学力の3要素		
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性
	(①)	(②)	(③④⑤)
総合型選抜	○	◎	◎
学校推薦型選抜	○	○	◎
一般選抜	◎	○	△

注1) ①～⑤は社会学部が求める学生像との対応を示しています。

注2) 重視する度合いが高い順に「◎」「○」「△」となります。

注3) 各入学者選抜区分において、多様な選抜方法を設けています。詳細は入学者選抜ガイドをご覧ください。